

# メーサイ市のサライヨン市長が来結

タイ・メーサイ市のサライヨン・シサモウト市長と同市の教育部長補佐、市営学校長ら6人が6月24日に来日、結城市と城西病院を訪問しました。

今回の訪問は、公益財団法人「茨城国際親善厚生財団（IIFF）」と姉妹都市の結城市との協力関係を深めるとともに、日本の教育を視察するのが目的です。

24日は、結城市の前場文夫市長を表敬訪問。前場市長は「IIFFの協力でさまざまな交流を進めてきました。今後とも両市の友好関係が深まることを期待しています」とあいさつ。サライヨン市長も「IIFFとの関係から始まり、結城市と友好都市の盟約を結びました。教育、医療、文化の交流が非常に役立っています。今後さまざまな事業を通して友好関係が強くなっていくことを期待しています」とあいさつ。2017年に結城市が贈った桜20本のうち15本が順調に育っていることを報告し、今秋にはメーサイ市から教育担当の職員2人を結城市に派遣し、日本の教育制度などを研修する予定を確認しました。

午後からは城西病院で多田正毅理事長らと懇談。メーサイ市でのこれまでの活動や今後の協力関係などをサライヨン市長らと懇談しました。

夕方には通所リハビリセンター「茶釜の湯」でメーサイ市を訪問した市議らも招き、交流会を開きました。エイサー隊の踊りで交流会をスタート。メーサイ市訪問の思い出などを語り合いました。

一行は、25日に結城市内の小学校などを訪問。授業を視察したり、児童と一緒に給食を食べました。夕方にはメーサイ市に贈る予定のはしご車も見学しました。

2019年6月26日

